

備考；10月7日開催の役員会提示素案から原案になった主な変更箇所⇒(1) 変更箇所は太字のアンダーラインで示す。(2) 前回項番③を⑱に繰上げ。(3) 前回項番④を4項番に分解し、前回項番⑱～㉔を調整。

平成30年12月2日

## 09 逆瀬台小学校区(ゆずり葉コミュニティ)地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)

方針	具体計画	進捗	補足説明	次期計画へ盛り込むか	
(1) 自然を活かした健康長寿のまちづくり 太枠2件を重要案件とする。					
健康づくり散策路等の充実、自主的な維持管理	①ゆずり葉緑地からドングリふれあいの森・ヤマボウシふれあいの森、ガケ崩壊防止工事跡(緑と花づくりエリア)をネットワークする散策路を整備する。散策路の東南側の入口となる若瀬橋一帯を魅力ある空間とする。北摂里山博物館「ゆずり葉の森」への出入口を逆瀬台1丁目の若瀬橋から白瀬川沿いに「アプローチ遊歩道」を新設する。奥行き30m、幅員2mで車椅子が通れるようにする。高齢者や家族揃って出来る健康寿命の延伸や健康づくりの散策を楽しむ。	行政	未着手	平成13年4月以後工事跡地として四季折々の植樹を行い散策路として完成。白瀬川沿いと駐車場との境界問題で県・市とで話し合ってきた。平成15年6月は現地での宝塚市長との話し合いで駐車場を買い入れるとの発言もあった。ところが平成29年1月に不動産業者が突然、散策路を封鎖してしまった。現在、阪神北県民局宝塚土木事務所に遊歩道の設置を要望している。	長期計画として新規追加。
	②西宮市に抜ける県道明石神戸宝塚線に散策路としての歩道を新設し、国立公園・檜ヶ峰、甲山森林公園、行者山へのアクセスを強化し、阪急仁川駅より阪急宝塚駅に至る宝塚市西部ハイキングコースの整備を行う。県道明石神戸宝塚線に「ゆずり葉緑地公園・ゆずり葉台分岐点」から「西宮北道路分岐点(甲寿橋・盤滝口)」までの歩道幅員2mを新設する。車道と歩道の境界にガードレールを設置する。	行政	未着手	平成30年4月から盤滝トンネルの西宮北有料道路が無料化となり、県道明石神戸宝塚線の交通量が増加となり、交通死亡事故発生現場でもあり安全対策からも歩道の設置が必要となっている。緊急対策として現在車道と歩道の境界白線にガードレールを設置する。	県道明石神戸宝塚線に「ゆずり葉台分岐点」から「西宮北道路分岐点」まで歩道幅員2mを新設する。
	③逆瀬川団地入口に接する白瀬川歩道橋の下・逆瀬川マンション北側から逆瀬台住宅に沿う白瀬川に散策路と護岸のモルタルを一定の間隔で露地を穿って植樹と花木・花草を植栽してアメニティロードとしていく。	協働	未着手	広域の健康づくり散策路の完成を目指す。	中長期計画。
	④ゆずり葉緑地公園の恵まれた自然の中でリクリーションをもっと市民が楽しむために広域から人々の集まる場所であり、ゴミ対策の美化看板の設置や違法駐車解消のための駐車場の充実などの交通環境整備と北部地帯にトイレを新設する。	協働	20%完	施設の充実を目指す。	長期計画。
	⑤地域住民がお互いに声を掛け合い、助け合って地域内公園、花壇、	協働	60%完	市立公園・緑地の花壇植栽は、園芸愛	継続事業。

備考；10月7日開催の役員会提示素案から原案になった主な変更箇所⇒(1) 変更箇所は太字のアンダーラインで示す。(2) 前回項番③を⑬に繰上げ。(3) 前回項番④を4項番に分解し、前回項番⑬～⑰を調整。

平成30年12月2日

## 09 逆瀬台小学校区(ゆずり葉コミュニティ)地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)

方針	具体計画	進捗	補足説明	次期計画へ盛り込むか	
	公共用地の樹木や花の補植、清掃等の居住環境の保全・育成を図る。「地域緑化モデル地区指定花壇」として整備する。公園アドプト制度の導入を推進し健康遊具を設置して「公園リノベーション事業」を継続する。また、裏山の自然や散策路の整備、維持管理、及び健康寿命の延伸を図る健康づくりと環境美化を兼ねた散策活動の活性化に努める。			好者サークルにも開放して花壇を整備し、市民の憩いの場とする。	
	⑥深谷貯水池を周囲に桜木を植樹して花見の名所にするとともに、水にふれあえる公園として有効活用できるようにする。	協働	未着手	貯水池は市所有、道路がなく宝塚ゴルフ場の中に孤立している。昔は山道があったのでは。山道の復活が必要。	長期計画。
	⑦宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報を定期的に行うよう要望する。	行政	未着手	環境保全。	長期計画。
(2) ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり 太枠1件を重要案件とする。					
地域の憩い・交流の場と仕組みづくり、高齢者が安心して社会参加・日常生活ができる仕組みづくり	⑧小学校・中学校・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に地域住民に開放し、スポーツ活動・コミュニティ活動の活性化を図る。スポーツ行政を推進する立場から「小学校体育施設開放事業」の運用強化を図り、住民ボランティアによる逆小体育施設運営委員会に積極的に参画する。また、市教育委員会の施策である「宝塚コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を設置し学校、保護者、地域が一体となって子どもの教育に関わっていく。	協働	50%完	平成30年4月から行政委託されていた「逆小体育施設管理指導員」制度が廃止されると共に「体育施設運営委員長」が逆小校長から住民代表に変わった。また、市教育委員会は、宝塚コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を設置し「地域とともにある学校づくり」の推進を図っている。	新たに逆小体育施設運営委員会に積極的に参画する。また、「宝塚コミュニティ・スクール」を設置し学校、保護者、地域が一体となって子どもの教育に関わっていく。
	⑨地域のコミュニティ活動の中心となる、「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するため、周辺の環境条件の充実、例えば必要最低限の駐車場新設や出入り口等の整備を行う。	協働	60%完	コミュニティルームの前付近を草刈りして5台の駐車場を確保した。デイC横に2.5mの道路を作り、直進入する。	出入口は、逆小正門からは問題ないが、デイCは鍵がないため自由が利かない。
	⑩逆小の地域・保護者・学校の活動活性化に逆小正門から100m下るバリケードの間は、道路指定から学校敷地へ用途変更し、逆小脇の水路上に蓋をして駐車場として有効活用する。	行政	未着手	平成14年12月7日行政に対し本件を含む拠点有効活用について提案5項目を依頼。平成20年12月7日市長と市民代表との対話の場「タウンミーティング」で本件の提案を行い市長の了解を得た。	長期計画。 (当会の拠点施設として平成14年10月から設置)

備考；10月7日開催の役員会提示素案から原案になった主な変更箇所⇒(1) 変更箇所は太字のアンダーラインで示す。(2) 前回項番⑬を⑭に繰上げ。(3) 前回項番⑭を4項番に分解し、前回項番⑭～⑰を調整。

平成30年12月2日

## 09 逆瀬台小学校区(ゆずり葉コミュニティ)地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)

方針	具体計画	進捗	補足説明	次期計画へ盛り込むか	
	⑪拠点の逆小は、校区の端からは遠く坂道であり、イベント参加が できにくい。カーボランティア制度が発展していない。また、住 民の生活の交通アクセスは、縦方向は阪急バスがあるが、横方向 はバス停まで高齢化で行けない状態。具体的仕組みのアイデアを 図る。例：利用者の要求に対応して運行するバスのデマンドバス、 定期便でコミュニティランランバス。参加者おさそい相乗り運動 の実施や福祉タクシー乗り合い制度、ミニバス（100円バス）の 導入を検討していく。	協働	未着手	過っては地域通貨エコマネーによる 小規模ながらカーボランティア制度が あったが実用化が進まなかった。イベ ントや病院・駅など好意的なカーボラ ンティアは進んでいない。	長期計画。
	⑫自治会が管理運営する自治会館を地域住民のふれあいサロンと して活用して行く。	協働	完了	当然ながら実施している。	継続事業。
	⑬地域の有志に、街かどふれあいスペース（蔵書の公開、オープン ガーデン、趣味の品作品展など）を提供してもらい、地域住民間 のふれあい・交流を活発にする。	市民	完了	ミニ図書館として実施している。	継続事業。
	⑭独居老人の意向をふまえながら、病弱、持病がある人や障害があ る人達の希望をまとめ、緊急通報システムや買い物の手伝いなど の具体的な見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。 併せて、「災害時要援護者支援制度」の取り組みを推進する。	協働	50%完	行政・社協との連携強化を図っている。	継続事業。
	⑮空巢、痴漢、いたずら電話が多発していることから、防犯対策と して、地域内に交番の新設と警ら箱・警察官立寄り所の増設を要 望するとともに防犯パトロールを強化する。児童の防犯に対して は、アトム110番の周知に努める。	協働	50%完	防犯グループを中心として活動。	継続事業。
<b>(3) 安全・安心・便利なみちづくり</b>					
安心して歩け る、車椅子で も安心して通 行できる道路	⑯県道明石神戸宝塚線に沿ってマンション群があり、車の騒音が大き く、速度制限や看板の設置、警察官の配置などの騒音対策を行う。	行政	未着手	マンション群の一部で窓を改装した り対応している。	継続事業。
	⑰逆瀬台の住宅地内にあるバス通りは、周辺地域からの車の通り抜 けが多く危険である。警察と連携のもと、スピード制限を遵守す るよう安全対策、騒音防止活動を行う。	協働	未着手	民間活動では難しい。	継続事業。
	⑱逆瀬台1丁目のファミリーマートと逆瀬川マンションに隣接する	協働	未着手	速度制限 30km が守れずスピード制限	新規事業

備考；10月7日開催の役員会提示素案から原案になった主な変更箇所⇒(1) 変更箇所は太字のアンダーラインで示す。(2) 前回項番⑬を⑭に繰上げ。(3) 前回項番⑭を4項番に分解し、前回項番⑭～⑰を調整。

平成30年12月2日

## 09 逆瀬台小学校区(ゆずり葉コミュニティ)地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)

方針	具体計画	進捗	補足説明	次期計画へ盛り込むか	
公共交通の 充実	道路の角地が見通せないため <u>安全対策を講じる。</u>		のための対策が必要である。		
	⑬逆瀬台1丁目の若瀬橋付近は、3道路が交差し、住宅街で見通しが悪い上に県道明石神戸宝塚線に通り抜けする車が非常に多いため、通学時は大変危険である。保護者の立ち番の他、警察官の交通整理など児童の安全対策を推進する。	協働	90%完	保護者の旗番と日報の警察署届で対応。	継続事業。
	⑭青葉台の④蔵人台共同墓地及び⑤市営西山霊園に、墓参のための駐車場の新設を行う。	行政	未着手	課題解決の難易度が高く難しい。	継続事業。
	⑮逆瀬台5丁目から共同墓地横を通り南口・逆瀬川方面への道路において、道路中央の部分が高くなっており、現在の停止ラインで止まっても逆瀬台方面から来る車は <u>見えにくい</u> ので大変危険につき安全対策を行う。	行政	完了	安全対策は課題解決の難易度が高く難しい。	継続事業。
	⑯路上駐車は、車椅子の障害となり、また見通しも悪くなるので、取り締まりを強化するよう警察署へ要望すると共に、地域独自のパトロール等に取り組む。	協働	85%完	訪問介護が増加し路上駐車対策が必要になっている。	継続事業。
	⑰阪急バス・逆瀬台センター行き路線でバス停の間隔が長く、高齢者の行動圏拡大のためにも、逆瀬台1丁目と逆瀬台5丁目の中間地点に新しいバス停の設置を要望する。	協働	未完	バス停設置の近隣住民の同意も得て推進されている。	継続事業。
	⑱県道明石神戸宝塚線は、荒地西山線が開通すると交通量がますます増大する。このため、白瀬川橋西詰から論鶴羽橋北詰までの区間で、以下の4点について検討及び事業化を推進する。 <u>(1) 3車線にして、右左折レーンの完全整備を行うこと。</u>	行政	未着手	荒地西山線は早い時期に完成予定であったが、土地買収が進まず永久的に出来ない状態。課題の発生がない。	長期事業。
	<u>(2) 前項の南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道を設置すること。</u>				
<u>(3) 前項の歩道区域は、常緑高木の緑地化とその樹間はベンチ等を置いて憩いの場とすること。</u>					
<u>(4) ⑭項の現在2カ所あるバス停に十分なポケットを設置すること。</u>					
<b>(4) 美しい、緑と街並みを培うまちづくり</b>					
	⑲コミュニティ西側に広がる里山は宝塚市全体の貴重な自然である	協働	完了	裏山の有効利用が住民による実践活動	メンテナンスの継続事業。

備考；10月7日開催の役員会提示素案から原案になった主な変更箇所⇒(1) 変更箇所は太字のアンダーラインで示す。(2) 前回項番②③を⑱に繰上げ。(3) 前回項番②④を4項番に分解し、前回項番⑱～㉓を調整。

平成30年12月2日

## 09 逆瀬台小学校区(ゆずり葉コミュニティ)地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)

方針	具体計画	進捗	補足説明	次期計画へ盛り込むか	
優れた景観・環境の保全と魅力向上に向けた活動推進	り、健康づくり活動とも連携しつつ、ボランティアな管理活動の推進を図る。		で実現した。兵庫県から指定された北摂里山博物館「ゆずり葉の森」である。		
	⑲県道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路燈設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりに努める。	行政	10%完	歩道の一部は完了したが後は未着手。	継続事業。
	⑳緑化の創出事業として、逆瀬台3丁目から6丁目までの左右の歩道に街路樹を統一した紅白のサルスベリに植替えられ、大きく繁茂している。花と緑の公園都市宝塚に相応しい逆瀬台の景観づくりは10年を超えて大プロジェクトが完了した。 <b>今後はその街路樹の水やりや手入れを継続する。</b>	協働	完了	花と緑の公園都市宝塚に相応しい逆瀬台の景観づくりに平成17年から計画・工事が始まり平成29年に大プロジェクトが完了した。	街路樹の水やり、剪定の継続事業。
	㉑逆瀬台1丁目から白瀬橋を渡った4丁目公園の正面入口付近は、夜間暗く通行が危険であるし、防犯上も問題がある。まちの入口にふさわしい瀟洒なデザインの街路燈を設置する。	行政	30%完	既設の照明が、LEDの導入で多少明るくなったが、暗い公園に瀟洒なデザインの街路燈の設置に至っていない。	継続事業。
	㉒県道明石神戸宝塚線に沿う宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットはまちの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどしてこれらの撤去検討を要望していく。	協働	未着手	ポール・ネットに沿ったゴルフコースは、県道の拡幅計画で使用されていない。	長期計画。
<b>(5) まちづくりにつながるひとづくり</b>					
次世代のコミュニティ活動を担う人材の発掘・育成	㉓小学校、中学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。	市民	30%完	住民と小学校児童が地域再発見の「まち歩き」を行ったり、地域学習の講話をしている。	継続事業。
	㉔大人から積極的に子ども達に声をかける「あいさつ運動」を実施する。	市民	50%完	学校や保護者から児童に対し、知らぬ人には話さない、不審者には、近寄らないで直ぐ学校に連絡。相反の難しい時代。	継続事業。
	㉕逆小児童の登下校時の見守り活動を活性化。特に土、日曜日、祝日と年末年始を除く育成会児童の同伴下校を充実させる。	市民	完了	児童の登下校の同伴以外に登下校の時間帯に合わせ、散歩や庭の手入れな	継続事業。

備考；10月7日開催の役員会提示素案から原案になった主な変更箇所⇒(1) 変更箇所は太字のアンダーラインで示す。(2) 前回項番⑳を㉑に繰上げ。(3) 前回項番㉒を4項番に分解し、前回項番㉓～㉖を調整。

平成30年12月2日

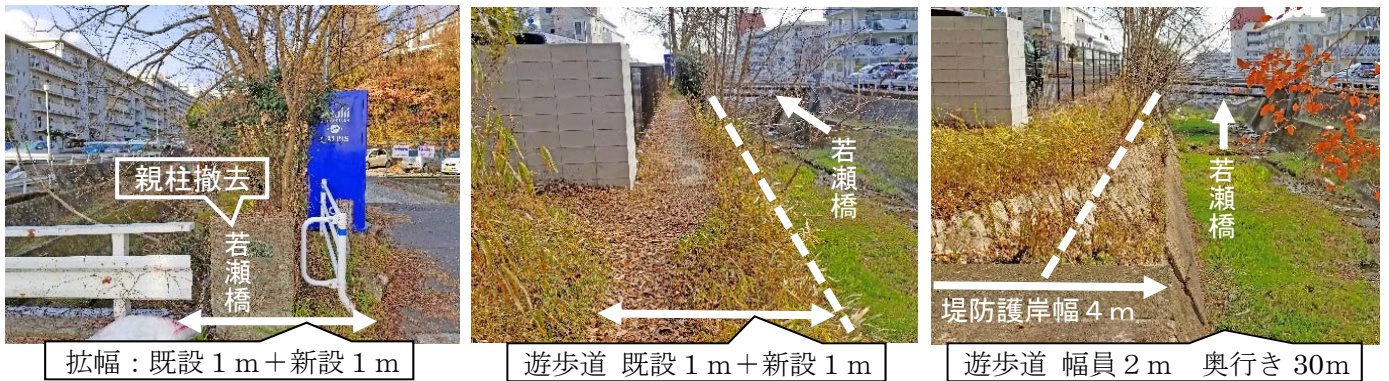
## 09 逆瀬台小学校区(ゆずり葉コミュニティ)地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)

方針	具体計画	進捗	補足説明	次期計画へ盛り込むか
			どで注意をして見守りを行う。	
	㉓地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。	市民 完了	自治会、各種団体のつながり、交流、サロンが実践されている。	継続事業。
	㉔地域内の様々な才能をもった住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、音楽会や住民持ち寄りの作品展示・観賞等を通じ地域文化の発揚と交流を定着する。 また、これらの方々を「人材バンク」として登録し、いざというときに活躍していただけるシステムをつくる。	市民 完了	「活動団体登録届」を提出し活動助成金を配賦して活動成果を確認する。	継続事業。
	㉕地域住民を対象としたまちづくり学習、講演会の開催、県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。 また、他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。	市民 完了	行政出前講座、社協とのつながり活動や学習活動が行われている。	継続事業。
	㉖ミミズクポスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実に努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。	市民 完了	ITの有効活動を中心とした住民との受発信の情報共有化を実行。	継続事業。
	㉗「白瀬川の自然を育てる会」を発足させて、白瀬川の自然豊かでホテル観賞、自然観察などの住民が楽しめる環境に変貌させ、住民の交流の場づくりを目指す。	協働 完了	川の清掃、環境づくりを実行。	継続事業。



## 「地域ごとのまちづくり計画見直し」に関する 3項目の重要案件について

(1) ①北摂里山博物館「ゆずり葉の森」アプローチ遊歩道の新設。



(2) ②県道明石神戸宝塚線の「ゆずり葉台分岐点」から  
「西宮北道路分岐点」の間に歩道 2 m とガードレールを新設する。



(3) ⑩逆小横の水路に蓋をして駐車場にする。

